

日本工学院専門学校		開講年度	2019年度		科目名	インテリアコーディネーター演習	
科目基礎情報							
開設学科	インテリアデザイン科		コース名	全コース		開設期	前期
対象年次	2年生		科目区分	必修		時間数	30時間
単位数	2単位					授業形態	講義
教科書/教材	教科書[インテリアコーディネーターハンドブック 総合版上下巻、過去問題集 上下巻]／参考資料等は、授業中に配布する。						
担当教員情報							
担当教員	小川 知子			実務経験の有無・職種	有・インテリアコーディネーター		
学習目的							
インテリアコーディネーター1次試験突破に必要な力をつけ、インテリアコーディネーターになるための際低限必要な知識をつける。 過去問題を使用しながら、知識の定着と試験の傾向をつかむ。							
到達目標							
インテリアコーディネーター資格試験 一次試験の合格を目標とする。							
教育方法等							
授業概要	インテリアコーディネーター1次試験の過去問題や練習問題を繰り返し解くことで知識の定着を図る。 ワークフロー 予習～単元ごとの問題に取り組む～解説・質問～復習 と繰り返して 全分野深く学ぶ。						
注意点	単元ごとにテストを行い知識の定着を図る。試験の傾向をつかみ慣れることも必要。 欠席の場合、学習した範囲が抜け落ちてしまうため、翌週の授業までに自身で進めておくこと。 授業時数の4分3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。						
評価方法		割合	備 考				
	試験・レポート	60%	レポート・試験・課題を総合的に評価する				
	ワーク・小テスト	30%	授業内容の理解度を確認するために実施する				
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する				
授業計画（1回～15回）							
回	授業内容		各回の到達目標				
1回	デザイン史（日本）		日本のデザイン史の復習を通し、多角的に理解が深まり、本試験レベルの問題も解けるようになる				
2回	デザイン史（日本）		日本のデザイン史の復習を通し、多角的に理解が深まり、本試験レベルの問題も解けるようになる				
3回	デザイン史（世界）		世界のデザイン史の復習を通し、多角的に理解が深まり、本試験レベルの問題も解けるようになる				
4回	デザイン史（世界）		世界のデザイン史の復習を通し、多角的に理解が深まり、本試験レベルの問題も解けるようになる				
5回	建築関連法規 1		建築関連法規の復習を通し、多角的に理解が深まり、本試験レベルの問題も解けるようになる				
6回	建築関連法規 2		建築関連法規の復習を通し、多角的に理解が深まり、本試験レベルの問題も解けるようになる				
7回	建築関連法規 3		建築関連法規の復習を通し、多角的に理解が深まり、本試験レベルの問題も解けるようになる				
8回	総合演習 1		上巻範囲／問題演習を通し、苦手分野を把握し、より理解できるようになる				
9回	総合演習 2		上巻範囲／問題演習を通し、苦手分野を把握し、より理解できるようになる				
10回	総合演習 3		上巻範囲／問題演習を通し、苦手分野を把握し、より理解できるようになる				
11回	総合演習 4		下巻範囲／問題演習を通し、苦手分野を把握し、より理解できるようになる				
12回	総合演習 5		下巻範囲／問題演習を通し、苦手分野を把握し、より理解できるようになる				
13回	総合演習 6		下巻範囲／問題演習を通し、苦手分野を把握し、より理解できるようになる				
14回	総合演習 7		下巻範囲／問題演習を通し、苦手分野を把握し、より理解できるようになる				
15回	振り返りとまとめ		模擬試験を体験し、より問題に慣れることができる				